

誰ひとり取り残さない

居場所づくり

○現状・課題

- ・ 少子化が進むなかでも、さまざまな原因から学校にいけなない児童・生徒（不登校児）が一定数いて、年々増加傾向である。
- ・ 今後、学校の統廃合が進み、大人数のみのクラスとなると、上記の子どもたちへのケアが困難となり、ますます学校に通えないケースが増えるのではないかと？

○学校に通う必要性

- 学校に行かないと得られないものを得ること
- 集団のなかでコミュニケーションをとって暮らしていける力を身につけるため
- 基本的な学力、社会性、社交性、忍耐力、社会に出るために必要なことを学ぶ

○2040年(将来)の目指す姿

子どもたちが一人残らず学校に通えるようになる



そのためにどのようにすればいいのかを
原因に振り返って考えてみました

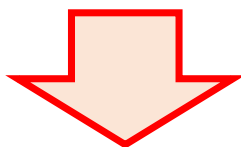
○学校に通えなくなる原因

個々の
問題

- 病気（集団生活が困難、起立性調整障害）
- 勉強がよく分からない

環境

- 家庭環境
- 生活リズムの乱れ
（ケータイやゲームなどによる夜更かし→朝が苦手に）

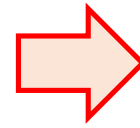


それぞれの解決方法を考える

【個々の問題】への対応

〔学校に通えない原因〕

- ・病気(集団生活が困難、起立性調整障害)
- ・勉強がよく分からない



子どもの教育
に関する悩み

- ・一人ひとりの子どもに合った学校を選べるようにする
(学校として通える“場”を残す)
- ・教育相談会を実施する(子どもに合った学校を選ぶ)

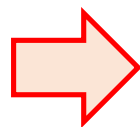


集団のなかでの対応が困難な子にも目が行き届き、きめ細やかなフォローができる学校へ楽しく通うことができるようになる

【環境】への対応

【学校に通えない原因】

- ・家庭環境
- ・生活リズムの乱れ



家庭での過ごし方
に関する悩み

- ・子どもの生活を整える
- ・子どもの話を聞く
- ・家庭の環境を整える
- ・身近な大人、友人との信頼関係を築く

- ・子どもや保護者が気軽に相談できる場をつくる
- ・専門家のアドバイス(子ども・親のカウンセリング)



子育てに関する不安や悩みを解消することで、子どもの健全な育成につながる

○2040年（将来）の目指す姿

子どもたちが一人残らず学校に通えるようになる



- ・子どもたちが自分に合った学校を選べる
- ・子どもへの接し方を含めた家庭環境の改善が図られる